

第7節 泉州二次医療圏（抜粋）

資料 2

第1項 泉州二次医療圏内の医療体制の現状と課題

1. 地域の概況

（1）医療体制

【精神疾患】

○地域連携拠点医療機関については、多様な精神疾患に対応するために、疾患ごとに定めており、統合失調症は17施設、認知症は13施設、うつ病は5施設となっています。

○泉州圏域は精神科病院数、病床数とも他圏域よりも多いため、圏域内はもとより圏域外からの急性期患者の入院需要に対応しています。

○長期入院患者の退院促進に関しては、圏域内市町が多いこと（府内最多の8市4町）に加え、圏域外からの患者も多く（P175※）、他圏域に比べより一層の圏域内での連携・調整や圏域を超える対応が必要です。

第2項 泉州二次医療圏における今後の取組（方向性）

（3）地域における課題に対する対策

【精神疾患】

【計画中間年（2020年度）までの取組】

- ・精神科の医療資源の優位性を生かし、診療所を含む各医療機関の連携と多様な精神疾患に対応できる医療提供が図れるよう、協議の場を設けて意見交換を行います。
- ・長期入院患者の退院促進については、長期入院精神障がい者退院促進事業を活用した地域移行への取組みをすすめます。
- ・医療機関や福祉関係事業所、保健所、市町村などが重層的に連携できるよう、保健所圏域ごとの協議の場を設置し、併せて市町村ごとの協議の場の設置を働きかけることで、地域包括ケアシステムの構築に向けたネットワークづくりに取組みます。

○計画中間年（2020年度）以降、計画最終年（2023年度）までの取組については、計画中間年までの取組を踏まえ、検討し、実施していきます。

2021年度 第7次大阪府医療計画 中間評価 泉州二次医療圏**中間評価年までの取組内容と結果（2018年度から2021年度までの取組）**

- 各種データ（夜間休日・合併症支援システムの利用状況」やNDBデータなど）の分析、課題の抽出と検討を行うことで、泉州二次医療圏の豊かな医療資源を確認した。また妊産婦のメンタルヘルスについて、圏域市町村における状況を通して医療連携の際の課題を整理し、今後の医療体制の検討の一助とした。
- 医療機関、市町担当課、地域精神医療体制整備コーディネーター、相談支援事業所等との連携をはかり、府の精神科病院在院患者調査、国の精神保健福祉資料等の活用をとおし、地域課題に合わせた働きかけを推進した。
- 全市町で協議の場が設置され、第5期障がい者計画の目標は達成。保健所圏域ごとの協議の場や市町村ごとの協議の場において、地域移行・地域定着にかかる取組み状況や課題を共有した。

計画最終年（2023年度）までの取組の概要**【計画最終年（2023年度）までの取組】**

- ・大阪府泉州精神医療懇話会を開催し、医療体制の整備状況の確認や、地域精神医療の特徴や課題の検討をすすめ、医療計画の進捗状況の確認と方向性の検討を行います。
- ・地域移行・地域定着にかかる院内研修会や院内茶話会の開催のバックアップやピアサポーター活動を支援し、地域精神医療体制整備コーディネーターの機能と連動することで、地域での地域移行・地域定着にかかる体制強化に取り組みます。
- ・保健所圏域ごとの協議の場において、各地域課題の共有に加えて、事例検討等によって、より具体的な連携体制の推進を行い、重層的なネットワークの構築を引き続き推進します。